

大雨による災害から身を守るために

近年、気候変動などの影響により、集中豪雨や台風増加による災害が頻発しています。このような降雨の増加傾向は今後も続くと思われます。

自然災害が発生すると、人間の力ではどうすることもできないときがあります。しかし、皆さんが予防対策をとることで被害を減らすこともできます。被害を最小限に抑えるには、一人ひとりがあわてずに適切な行動をしなければなりません。そのためには、皆さんが、いざというときに落ち着いて行動することができるよう、日ごろから防災の正しい知識を身につけておくことが大切です。

集中豪雨に備えよう

発生メカニズム

豪雨が発生しやすいのは、梅雨の終わりに前線が停滞しているときです。

また、台風が接近、または上陸している前線を刺激して激しい雨を降らせます。南から暖かく湿った空気が流れ込み、大気が不安定になるためです。

集中豪雨が起きると

短期間のうちに狭い地域で集中して降る雨・集中豪雨は、突発的に降ることが多く、予測は大変困難です。周辺に比べて低い土地への浸水、河川の氾濫や土砂崩れ、がけ崩れなど、大きな被害を生むことがあります。

いざという時にどうするか

避難のタイミングを逃がすことで、被害に遭うことが少なくありません。

風水害の場合は、「このままでは危険だ」ということになり、いざ避難を開始するときには、もはや外は腰まで水につかるような移動には危険な状態になっていることがあります。警報の変化など、情報には、敏感に対応し、早めに移動することが大切です。

情報を集める確かな判断を

風水害は、風や雨など自然現象が原因で起こる災害のため、予測が立てにくく、完全には防ぎにくいという問題があります。

しかし、有益な情報を集めることで、危険を回避できるように準備し、被害を最小

かけ付近や丘陵の造成地、レジャーなどで山間部の河川にいる場合は、気象情報に十分注意しましょう。

洪水の中はこうして避難

○歩ける深さは、男性で約70cm、女性で約50cm、水深が腰までであるような無理をせずに、高所で救助を待つ。

○お年寄りや身体の不自由な人などは背負い、幼児は浮き袋、乳児はベビーバスを利用して安全を確保し避難を。

○洪水のときは地形が一変し、道路は川のようにになります。水面下にはどんな危険が潜んでいるかわからないので、長い棒を杖代わりにし安全を確保しながら歩く。○はぐれないようお互いの体をロープで結んで避難を。特に子どもから目を離さないようにしましょう。

○裸足や長靴ではなく、運動靴で避難を。

台風に備えよう

台風時には、風でさまざまなものが飛んでぶつかったり、倒れたりすることで事故が起きることがあります。台風が来る前に対策を立てましょう。外壁の補強などを日ごろから行うようにしましょう。また、台風風が通過した後の吹き戻しにも注意してください。

台風が来る前に

○窓や戸戸はしっかり鍵をかけ、必要なら

ば外から板を打ち付けて補強する。

○ガラス窓には割れたときの飛散を防ぐため、テープを貼ったりする。また、外からの飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。

○雨どいや側溝のごみや土砂などを掃除し、水はけをよくしておく。

○風で飛ばされそうな物は飛ばされないように固定する。

○次のような非常品をまとめて、持出袋などにに入れておく。

懐中電灯、ろうそく、マッチ・ライター、携帯ラジオ、予備の乾電池、救急薬品、衣類、貴重品、非常用食料、手袋(軍手)、ヘルメット、飲料水、運動靴など

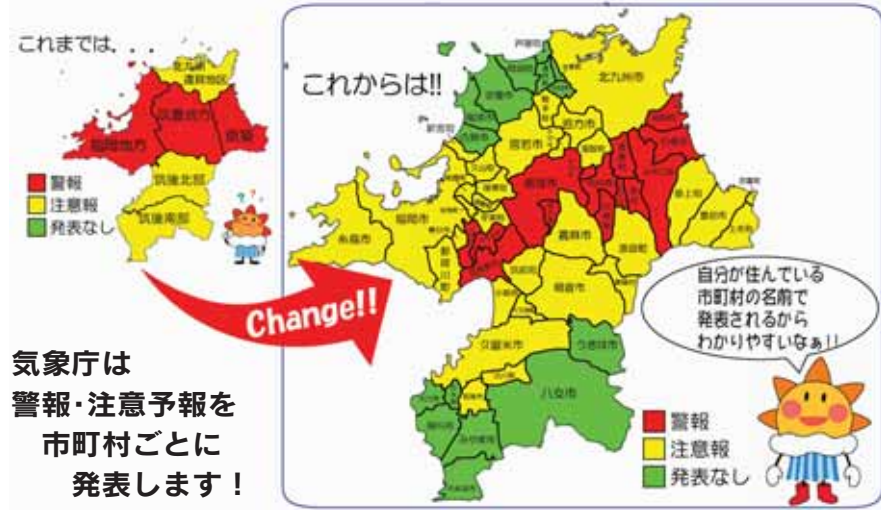
○断水に備えて飲料水を確保する。浴槽に水を張るなどしてトイレなどの生活用水を確保する。また、長期停電のため、冷蔵庫内の食料が悪くなるおそれもあるので、水や食料品の備えは十分しておく。



大雨に備えて行われた水防訓練

警報・注意報の改善について

気象庁は、大雨や洪水などに対する警報・注意報を都道府県をいくつかに分けたあらかじめ定めた複数の市町村で構成された地域を対象に発表していました。これを「○○市に対して大雨警報を発表」など、個別の市町村を対象として発表します。ただし、テレビやラジオで警報・注意報をお知らせする際は、市町村を「まとめた地域」で放送される場合があります。



気象庁は
警報・注意予報を
市町村ごとに
発表します！

のパトロールを実施します。また、災害が発生する恐れがあるときは、避難情報を発表し、広報車などで避難を呼びかけます。

万が一に備えて日ごろの準備を

○避難場所・避難経路を確認しましょう
災害時には、家から一番近い避難所が使えない事態も考えられます。近い避難所を2箇所以上確認しておきましょう。また、避難経路の周囲に水路、側溝、段差などの危険箇所を確認しておきましょう。

○持出品はすぐに取り出せるように
持出品は日ごろから準備し、置き場所を決めておきましょう。また、中身が使えるかどうかなどの確認、入れ替えを行いましょう。

○家族みんなで防災の話し合いを

避難時の心得

○不安を感じたら、早めの避難をしましょう。

○一人で行動せずに近所の人たちと助け合いましょう。

○荷物は必要最小限にし、できるだけ両手を空けておきましょう。

避難所一覧					
災害種別	避難場所	電話番号	収容人員	住所	校区別
災害	のぞみが丘小学校		430	希みが丘 5-2-17	三国校区
台風	のぞみがおか生楽館	75-6607	100	希みが丘 5-2-17	
災害	三国中学校		530	美鈴が丘 5-15-1	
災害	小郡高等学校		720	三沢 5128-1	
台風災害	三国校区公民館	75-3392	130	三沢 4196-1	
災害	三国小学校		430	力武 1012	東野校区
台風災害	東野小学校		390	小郡 2409-4	
台風災害	東野校区公民館	75-7066	270	三沢 83-1	
災害	大原小学校		390	大保 1394	大原校区
台風災害	大原中学校		610	小郡 772	
台風災害	小郡市生涯学習センター	73-2084	500	大板井 1180-1	
災害	小郡小学校		480	小坂井 288	小郡校区
台風	大崎教育集会所	72-9738	75	稲吉 1338-8	
災害	小郡中学校		480	寺福童 668	
台風	小郡交流センター(旧老人福祉センター)	72-2846	150	寺福童 859-51	立石校区
台風災害	立石校区公民館	73-2768	130	干潟 2056-1	
災害	立石小学校		420	吹上 968-2	
災害	立石中学校		430	吹上 1045	御原校区
災害	三井高等学校		590	松崎 652	
台風	市民館	72-8190	80	下岩田 2108-3	
台風災害	御原校区公民館	72-9038	130	稲吉 437-11	御原校区
台風	二タ集会所	73-4393	60	二タ 1451	
災害	御原小学校		300	二タ 316	
災害	宝城中学校		450	八坂 26-1	
災害	味坂小学校		300	八坂 456-1	味坂校区
台風災害	味坂校区公民館	73-3858	130	下西 簗坂 253-1	

災害種別について

災害：地震や水害など大規模災害時の避難場所
台風：台風時の避難場所
台風・災害：災害、台風時の避難場所

問い合わせ先

総務課協働推進係 ☎ 72-2111 内線 244

小郡市ホームページ

<http://www.city.ogori.fukuoka.jp/>

福岡県河川防災情報ホームページ

<http://www.kasen.pref.fukuoka.lg.jp/bousai/>

福岡管区気象台ホームページ

<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>